

# 三心を磨く

学校だより NO. 23

平成28年12月15日(木)発行

須坂市立 東 中学校

文責：奥 幸雄(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

新役員が決まり、いよいよ生徒会も引継ぎの時期となりました。今年度の生徒会活動につきまして報告をさせていただきます。(生徒会活動報告より)

## 平成28年度東中学校生徒会活動報告

### 1 生徒会スローガン

#### 全躍～一人ひとりが主役の東中～

全校生徒一人ひとりが、生徒会活動の中で主役になって活動し、その全校の力で東中学校を躍進させていこうという願いを込めて、このスローガンを設定し、活動してきました。

各委員会の活動でも、自分に関係ないと思うのではなく、自らが積極的に参加するように、活動の目的を説明したり、目標を具体的に設定したりしてきました。そのおかげで、多くの生徒に、生徒会活動に積極的に参加してもらうことができました。

### 2 重点項目

スローガン達成に向けて、3つの重点項目(活動の三本柱)を設定しました。各委員会の活動を進める中で、少なくとも、どれか1つは意識して活動をしてきました。

#### (1) 全員協力

##### ① JRC委員会 ペットボトルのキャップ回収

昨年度までは、クラスごとに集まった数を競っていました。しかし、今年度は、活動への参加率を競いました。ここでいう参加率とは、家からキャップを持って来た人と、キャップを洗ったり数えたりする作業に参加した人の人数の割合で計算します。家からキャップを持って来ることが難しい人でも、参加できるようにしました。今までは「家がないから。」で済ませていた人も、キャップを数える活動には参加できるようになり、全校生徒が活動に参加できるようになりました。

また、ただ集めるのではなく、集まったキャップの数を、交換できるワクチンの本数で示したことも、効果があったと思います。今年度は、昨年度の倍以上のキャップを集めることができました。



ペットボトルキャップの収集



あいさつ運動の様子

## ②給食委員会 給食向上週間

衛生的な給食にするために、また、全員で給食の準備をするために、全校生徒がナフキン・箸・弁当箱を準備開始から10分以内に机の上に出すように呼びかけました。この活動では、クラスごとに目標を設定しました。はじめは達成率に差があり、「給食だより」で紹介することができない状況もありましたが、各クラスの前回の達成率をもとに、クラスごとに目標を立てて、活動を続けてきました。11月に行われた3回目の給食向上週間（保健給食合同プロジェクトの一環として実施しました）では、どのクラスも、90%台後半の達成率になりました。

### （2）達成感

#### ①書記局 月目標

書記局から、毎月生徒会活動に関する目標を立て、各クラスに掲示しました。

10月…あいさつを交わし、あいさつの重要性を実感しよう。

11月…生徒会選挙を機会に、日々の活動をふりかえり、自分の役割を見直そう。

最近、朝の会と帰りの会で、クラスごとに読み上げてもらっています。月末にふりかえりアンケートを行い、自分自身の取り組みをふりかえってもらいます。目標が、具体的ではなく、達成の基準が示されていないので、記述式で、「自分なりにできたこと」を書いてもらいます。また、各委員会の週間や旬間でどのくらいの達成感を得られたのか、評価してもらっています。こちらは、集計できるように番号を選ぶようになっています。

#### ②放送委員会 HSKプロジェクト

「放送を 静かに 聞こう」プロジェクトの略です。昼の連絡放送を静かに聞きます（連絡放送の後のリクエスト曲やインタビューなどは、放送の内容に関わることを話したりしながら、楽しんで聞きます）。放送開始までに給食の準備を終わらせ、静かに聞けるようにします。各クラスの委員は、放送開始の時間に合わせて、呼びかけをしました。今年度行った週間や旬間の中では、HSKプロジェクトが最も高い達成率でした。

### （3）交流

交流については、昨年度から、東中学校の生徒会が大切にできています。校内の交流としては、生徒会の時間の後半を使って、全校レクを行います。今年は、体育委員会が中心になって、委員会対抗の大縄大会を行いました。また、楽しむ場面だけではなく、整美委員会が行う縦割り清掃などでは、緊張感のある中で、上級生から下級生に伝える、教える交流も行っています。伝統のコスモス街道のポットあげも、委員会ごとに行い、上級生が下級生を教えながら作業をしています。

校外との交流としては、JRC委員会が中心になって行っている特別養護老人ホーム須坂荘との交流では、全校生徒がグループ別に居室の洗面スペースの清掃をさせていただきました。資源回収の収益金の一部を使い、車椅子を購入して贈呈することも、継続して行っています。文化祭の中では、今年も地域の方を講師に迎えての生徒会企画「地域体験講座」を行いました。生け花・マジック・郷土料理など、ふだんできない体験ができました。

#### ①体育委員会 SPORTS週間

学年の壁を取り除くことを目的に、休み時間に体育館でできるスポーツを企画しました。本校の生徒は、もともと保育園や小学校から一緒に、学年の枠をこえて仲が良い方だと思いますが、ドッチボールやしっぽ取りゲームなどの活動を通して、さらに交流をすることができました。文化祭の中のチャレンジランキング（小運動会）でも、交流種目として、縦割りチームで玉入れを行いました。クラス対抗の大縄跳びと全員リレーの間に、全校で楽しいひとときを過ごすことができました。

## ②学芸委員会 地域の方を迎えての音楽集会

今年からの試みとして、地域の方をお迎えしての鑑賞の音楽集会を行いました。これまで、教育長の小林雅彦先生を指揮者としてお招きしての音楽集会を開いてきましたが、鑑賞の音楽集会は、今回が初めてです。今回は、市内で活動するアルモジャズのみなさんをお迎えして、ジャズの演奏を聴かせていただきました。「君をのせて」「星に願いを」などのなじみのある曲のジャズ・バージョンを聴いて、ジャズに関心をもった生徒も多いようです。



## 3 東祭

生徒会最大行事である東祭では、「全躍～A story we create～」のテーマのもと、ひとつの物語を、全校で創り上げることができました。

イベント的に東祭を盛り上げて終わるのではなく、日常の活動から充実させようと、「全躍大作戦」を行いました。各委員会で行う活動について、それぞれに目標を立て、「全躍ポイント」や「全躍アイテム」を獲得することを目指しました。基本的には、日常生活を充実させるための活動や東祭の事前準備で獲得できるのが「全躍ポイント」で、東祭当日に全員協力が達成されたときに獲得できるのが「全躍アイテム」です。



「面倒だ」「誰かがやってくれる」「どうせ自分一人くらい」という弱さを乗り越えた人の象徴として「全躍ズ」というヒーロー戦隊を設定しました。反対に、自分の弱さに負けてしまい、無気力になってしまった敵役として、「ブラック茂吉団」を設定しました。全躍ズの勝利の決め手は、東中学校生徒の全員協力だというストーリーで、夏休み前から「東祭百日前集会」などを行いました。ヒーロー戦隊ものなど、子どもじみていると思う人もいるでしょうが、そういう設定でも、みんなが本気になって取り組めるのが、東中学校の良さだと思います。

東祭当日は、全員協力の成果として、敵役も改心し、最後は全校で一緒に「GOOD TIME」という曲を踊って終わりました。全校でひとつのことを成し遂げられた、という達成感を味わえました。

## 4 有志の活動

生徒会活動の中で、義務ではないけれど、自主的に活動に参加してくれる人のことを、東中学校では「有志」と呼んでいます。「ボランティア」という言葉に近いと思いますが、一般的にいわれる「ボランティア」という言葉よりも、もっと積極的なイメージで「有志」と言っています。今年の東中学校の生徒会を語る上で、重点項目の3つや、東祭の成功と同じくらいに大切な言葉です。

東祭前の有志の活動には、次のようなものがありました。

- ・ペットボトルキャップ回収で、回収したキャップの個数を数える有志。
- ・事業所からのアルミ缶回収で、いただいたアルミ缶を洗ったり、数えたりする有志。
- ・ワックスがけの前の教室の清掃をする有志。
- ・雨のために水たまりになったグラウンドの水抜きをする有志。
- ・閉祭式でのダンスに参加する有志（先生方にも参加していただきました）。

## 5 東中学校生徒会人権宣言

今年度、生徒会で取り組んできた人権宣言が、生徒総会で、正式に採択されました。昨年度、2学年生徒会を運営していた頃からの願いでした。全校生徒の中からは、「自分一人ではいじめや差別はなくせないかもしれない、いじめや差別をなくすために全校が全員協力できればいい。」「やっちはいけないことを並べる宣言よりも、やるといいことを並べた宣言になっていていいと思う。」などの声が寄せられました。

みんなが笑顔で安心して過ごせる学校にするために、これから10年、20年と大切にしていきたいです。

### 東中学校生徒会人権宣言

私たち東中学校の生徒会は、全員が毎日笑顔で学校生活が送れるように、次の人権宣言を定めます。

- 第1条 全校で**助け合い**、支え合える学校にします。
- 第2条 **共に**学び、**共に**育つ環境をみんなで創ります。
- 第3条 差別・偏見・いじめは絶対に許さず、みんなが**平等**な関係を築きます。
- 第4条 お互いの違いを**認め合い**、より一層かけがえのない存在になります。
- 第5条 思いやりの心を磨き、**交流**を深めます。

## 6 あいさつの充実

須坂市生徒会サミットのあいさつ向上プロジェクトの一環として、本校の生徒会では「あいさつのナガノパープル」を行っています。毎日の週番活動の中で、各クラスのあいさつの様子を報告してもらっています。具体的に、「〇〇さんのあいさつがいい」「☆☆さんのあいさつで心が癒された」などの報告を増やしていきたいです。

また、生活委員会では、「あいさつ強化週間」（主に校内）、「あいさつを広めよう週間」（校内外）もを行っています。仁礼コミュニティセンターと豊丘公民館を通して、東中生のあいさつについて、地域の方のご意見をうかがう回覧も回しました。

昇降口でのあいさつ当番の様子を、須坂市あいさつ課の方にご覧いただけるように、お願いをしているところです。



あいさつのナガノパープル

3年生を中心にした生徒会が、「全校生徒一人ひとりが生徒会活動に関心をもち、参加し、一人ひとりが主役の生徒会にしよう」と様々な取組を企画してきました。保護者の方々、地域の皆様のたくさんのお支えをいただきました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。